

・「ハートセンター開設の挨拶」

ようやく、名古屋の暑い夏も終わりが近づきましたが、皆様お変わりはありませんでしょうか。

また、第二回術後の会も十月十三日（土）に、勝川駅前のホテルプラザ勝川にて予定しております。生活習慣病予防講座、家庭でできる救急セミナー等のコーナーを考えております。御家族づれでお越しいただけるのを楽しみにしております。

さて、退院後の患者様からのいろいろなお質問等をいただいておりますが、今回第一回目として、よく受ける術後の質問についての解説をさせていただきます。今後も続けていきたいと思っておりますので、引き続き質問等を受け付け致します。

【退院後の質問集】

1. お風呂はいつ頃から？

手術一週間後より創部以外のシャワー、シャンプーは可能です。二週間後からお湯につかってもかまいません。創部をごしごしこするのは二ヶ月後からにしてください。熱すぎない湯で短めにしてください。温泉、サウナは二ヶ月後からが適当と思われるます。

2. 創部のテープはいつ頃外せますか？

手術後一ヶ月以内に自分ではがしてください。創部の糸は自然にとけて消失します。傷が開いたり、傷から膿が出てきたり、なかなか乾かない場合は受診してください。創部のこのような合併症は手術後一ヶ月以降にはまず起こりません。

3. 胸の傷がピリピリ痛んだり、傷の周囲の感覚がおかしいのですが・・・

個人差があります。全く感じない方から気になる方までいらっしゃいますが、皆さん痛み止めを飲むほどではありません。一年以内でほとんどの方が気にならなくなっていくと思われまます。

4. 胸骨のワイヤーはどうなるのですか？

手術の時切って開いた胸骨は、ワイヤー（ステンレス、チタン）で再度閉鎖します。胸骨は約二ヶ月で自然にくっつきませんが、ワイヤーは一生そのままにしていなくても心配ありません。

5. 足の傷が痛んだり、むくんだりするのですが・・・

バイパス手術で足の静脈を採取する場合があります。足の皮膚表面の静脈なので、採取しても足の機能には問題なく、足の血液のめぐりが悪くなることもありません。

6. 手術後なんとなくだるいののですが・・・

手術によって、皮膚から内部まで傷をつけます。傷による炎症もしばらく続きます。傷が治るまで多少のエネルギーも必要とします。

手術によって体の体液バランスも多少崩れます。少し体全体がむくみます。また、多少の貧血も認めます。心臓の手術の場合、心臓が本来どおり完全に回復するのも時間がかかります。心臓手術という精神的緊張も認めます。以上のことから、患者様によって個人差はありますがなんとなくだるいという場合があります。検査でも異常のない場合、六ヶ月以降でこのような症状が消失することがほとんどです。ゆっくりとリハビリをしてください。

7. 肩がだるい、いたむのですが・・・

まれに肩の痛みで悩まれる患者様がいらっしゃいます。心臓手術で胸を開いた場合に肋骨に負担がきたものと思われまます。現在では手術前後に肩等の運動リハビリを行なって予防しております。ひどい場合は整形外科的に診察していただき、痛み止めにて対処しておりますが、ひどい場合でも手術後一年以内に軽快してくる場合がほとんどです。

8. 手術後声が出にくくなった

麻酔による気管内チューブの影響で声がかすれることがあります。原因は不明ですが、心臓手術後まれに喉の神経（反回神経）が一部麻痺することがあります。いずれも時間の経過とともに回復する場合がほとんどです。

9. 手術後、車の運転は？

手術二ヶ月後より可能と思われまます。長距離は休みながら運転してください。

10. 自転車は？

手術六週間後より、可能と思われまます。

11. 海外旅行、飛行機はいいのですか？

術後二ヶ月以降であれば、問題ありません。

12. 食事で気をつけることは？

暴飲暴食はしないで下さい。低塩分、低脂肪で、甘いものを控えることが動脈硬化の予防になります。体重測定をしていただき、急激な変動のないようにしてください。

13. アルコールは？

手術三週間以降で体調が良好であれば、可能と思われます。ビールは一缶、日本酒ワインはコップ一杯程度にしてください。

14. タバコは？

動脈硬化の進行、肺機能の悪化を招きます。禁煙に心がけてください。

15. 薬はどうすれば？

心臓手術後に服用していただく薬があります。

パップアリン(81)：バイパスした血管が閉塞しないように朝一錠予防的に投与します。

ラシックス、アルダクトン(利尿剤)：体内に水分がたまりすぎると心肺に負担がかかります。それを防ぐために約3ヶ月程服薬いたします。

ニトロールR、ヘルベッサ：冠動脈を拡張する作用があります。一～二年間服用していただきます。

セルベックス：胃薬（調子のいい場合は中止してください）

マグラックス：便を出しやすくする薬（調子のいい場合は中止してください）

ワーファリン：人工弁手術の方、血栓症になりやすい方、血栓予防のために投与します。ワーファリンの効き目は個人差があり血液検査（PT）で投与量を調節します。効きすぎると出血傾向が出現し、効き目が弱いと血栓ができやすくなります。また、納豆、ビタミンKの豊富な海藻類はワーファリンの効果を弱めるといわれていますので食べすぎに注意しましょう。主治医の指示に従って毎朝 確実に服薬して下さい。

その他もともと疾患のある方（高血圧、糖尿病、高脂血症、胃腸疾患等）はそれらの服薬をしていただく場合があります。今回は以上です。次回第七号でも掲載していきます。皆様がお元気で活躍されることを心からお祈り申し上げます。

心臓血管外科部長

大橋 壮樹



・ 体 験 談

「心臓血管外科手術を受けて」

一月の下旬、胸が苦しくて眠れない日が続き徳洲会病院にて診察を受けたところ、詳しい検査が必要とのこと。もともと高血圧・糖尿の持病があったので、悪い病気が増えるのではないかと心配でなりませんでした。

検査の結果、手術をすることになり、初めての体験に不安と戸惑いを感じ動揺していた時、たまたま同室にいた術後の患者さんより励まされていくらか気持ちも落ち着きました。家族の希望もあってすべてを先生にお任せする決意をしました。手術は眠っている間に終わってしまったので何もわかりませんが、目が覚めた時に医師から「順調ですよ」と言われた時には涙がでました。その後は痛みも心配もなくなって安心して過ごせるようになりました。まだまだ完全ではないのですが、毎日ゆったりとマイペースで暮らしております。

これまでに回復できたのも、医師をはじめ病棟の婦長さん、看護婦さんたちのおかげと深く感謝しております。

阪田キヌエ

自分が大変な病気になるとは思ってもいませんでした。いつも通りに会社に出勤し、昼休みも終わりかけの頃に急に胸が苦しくなり、同僚に助けを求め、病院に搬送され至急検査してもらい、その結果、心筋梗塞の疑いと診断され、このままでは生命に危険があるので緊急手術をしていただき命拾いをしました。手術後ICUに移り、四、五日危険な状態でスタッフの皆様の懸命の看病により意識が戻り、順調に回復しました。

これだけの大手術をして頂いた先生方やスタッフの皆様に感謝しています。ICUに二週間位お世話になり、その後四階の病室に移り室内で伝い歩きから始めて、二、三日後には病院内を自由に歩ける様になりました。入院以来、約三十五日位で退院することができました。退院後は毎日午前中に散歩して少しずつ体力を付け、元の生活に戻れる様に頑張っています。お陰様で二月一日より職場復帰することが出来、皆様には大変感謝しています。今では以前より体が軽く快調です。今後健康には十分注意して頑張っていきます。

山内康雄

始めは長い間咳や痰に苦しみ内科にお世話になりました。その日の内に心臓に雑音があり、即レントゲン、心電図、カテーテルといるいる検査をしました。結果思いもなかった病気で、手術するのが一番の治療とのことで手術を受けることになりました。今から思い出しますと、四、五年前より急に胸が締めつけられたり頭痛がひどかったり症状はありました。

大橋先生の病気に対するやさしい説明であまり病気の事を詳しく知らない内に手術していただき、よかったと喜んで居ります。術後一ヶ月半過ぎここ二、三日暖かくなり傷口も痛まなくなりました。毎朝正しい鼓動で目覚め一日が始まります。健康に感謝しています。又、入院の際は田崎婦長さん、看護婦さんの皆様にお世話になりました。ありがとうございました。

河村孝子

夜中に息苦しさを覚え、病院へかかるまで、普通に仕事も家事もこなしていましたので、心臓弁膜症と言われた時には大変驚きました。手術が必要と言われた時には不安がいっぱいでも夜も眠れない程でしたが、先生や婦長さんから丁寧な説明を受け、手術を受ける決心をしました。目が覚めた時にはICUで親切な看護婦さんの指導のもと、順調に回復し、術後四日目には一般部屋へと移る事ができました。病室に戻ってからも、大手術をしたとは思えない回復ぶり一人でトイレに行ける程で、先生や看護婦さんを驚かせました。

今ではICUから見えた満開の桜がなつかしく思い出されます。健康には自信がありましたので身体障害者手帳を受ける事になり複雑な思いでしたが、助けていただいた命、大切に生きて行きます。

辺田信子

今まで風邪をひいたこともない私ですが、でも、高血圧の薬だけはずっと前から飲み続けていました。昨年十一月頃から少し疲れるようになり年のせいかな？と思っていましたが、十一月二十六日、呼吸が苦しくなり、我慢していましたが、二十七日夜急に徳洲会病院に運ばれてすぐに、大橋先生、坂本先生に処置して頂き何時間後に元気になりました。これから入院して検査しようと言われて、採血・心電図・レントゲン等。そして、心臓弁膜手術をしましょう、と言われて私も八十才ですから不安もあり迷いました。でも先生や婦長さんや家族の励ましで決心しました。十二月十四日手術の日、まな板の上の鯉のたとえ通りの気持ちでしたが、眠っている間に終わり、気がついた時には口が濁っていた。そんな時、林婦長さんが一かけらの氷を口に入れて下さり、その氷のおいしかった事は一生忘れません。それから病室に帰り、婦長さんが「お帰りなさい、ご苦労さんでした。」と迎えて下さり涙が出ました。

病室に帰ってからは、大橋先生、坂本先生、田崎婦長さんが毎日訪ねて下さり、いろいろお世話して頂き、やさしい看護婦さん達にもいろいろ感謝しています。今はすっかり元気になり前より丈夫になりました。本当にどうも有り難うございました。

小池みよ子



「冠動脈バイパス手術を受けて」 近藤和道

私は直腸ガンの手術後、血圧の低下があり一カ月程経過してから心臓カテーテル検査を受けました。検査後、大橋先生から狭心症の宣告を受け冠動脈バイパス手術を受ける事になりました。日頃何の自覚症状もなく、全く予想もしなかった手術という事で非常に驚きとまどいま

した。しかし、おかげで早期発見という事で本当に幸運であったと、ただただ感謝致しました。と、同時に私としてはとにかく信頼してすべてをお任せしようと思いを決めました。

術後はめきめきと順調に回復し当初入院予定は三週間でしたが、入院十日間にして退院のお許しを頂きました。退院後も先生の指導のもとに意識的に体を動かして日々がんばっております。二カ月の間に二つの手術を受ける事となりましたが、全ての不安はすっかり消えて安心して治療を受けさせて頂きました。入院中はスタッフの方々をはじめ、看護婦の皆様のお世話になり感謝あるのみです。

これからは、老後をすこやかに生きるため、そして、皆様の手厚い治療と看護に報いるべく自ら健康管理につとめてがんばって参りたいと思

います。



ご 案 内

このたび「第二回 心臓血管外科 術後の会」を開催する運びとなりました。詳細は左記の通りです。出欠は同封のハガキにご記入の上ご返送ください。

日 時： 10月13日(土)

時 間： 12時30分から

場 所： ホテルプラザ勝川

集 合： ホテルプラザ勝川

会 費： お1人様 3,000円

その他： 当日は当院から送迎バスが出ます。
バスを利用される方は、11時30分までに当院、玄関前に集合してください。

問い合わせ先： 地域医療部 古田又はコーディネーター佐藤まで (内線955又は922)



編 集 後 記

今後も術後の質問集を受け付けますので、遠慮なくお申し出下さい。

体験談もなるべく多く掲載させていただく予定にしております。なお、体験談に、感謝のお言葉をいただくことがあり、大変ありがたく思っておりますが、掲載時には省略させていただくことがありますので、御了承下さい。